

Express5800/ftサーバ

構成検討、構築・運用に際してご注意いただきたい事項
(対象機器：R320h-M4/E4、R320g-M4/E4)

2021年 8月版

日本電気株式会社

Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。



構成検討

構築・運用

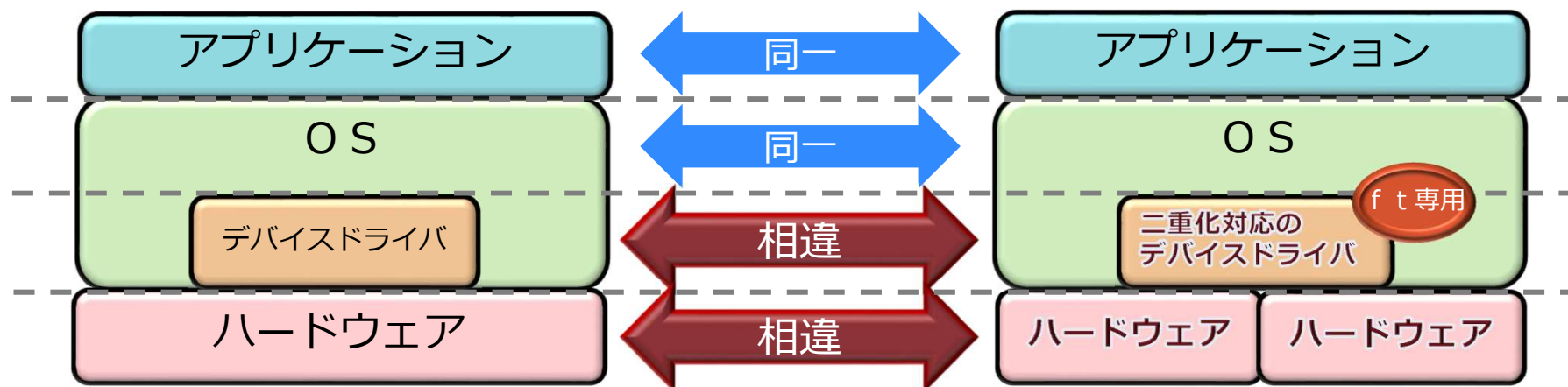
目次

- ftサーバのしくみに関連する基本的な注意事項
- ftサーバ動作に影響する注意すべきソフトウェア
- ftサーバ動作の特性により影響を受ける動作

ftサーバのしくみに関連する基本的な注意事項

シングルサーバ

ftサーバ



- ①ftサーバは二重化機構を具備した「**普通のP Cサーバ**」です。
- ②二重化ハードとOSとの処理は「**ft専用ドライバ**」が吸収。

ftサーバも通常サーバと同じ構成部品を使用している

注意：ftサーバは「**ハードウェアの可用性は高い**」が

「**OS／アプリケーションは一般的なIAサーバと同等**」！

故障を検知したらすぐ修理！ でなければ、可用性は通常サーバと同レベル

注意：ftサーバといえど、**故障の放置はシステムダウン**につながる！

ハードウェアの二重化に対応した「専用デバイスドライバ」を使用

注意：**未サポート装置／デバイスドライバ**の使用は誤動作を引き起こす原因に！

ftサーバ動作に影響する注意すべきソフトウェア

以下のソフトウェアを使用されようとしていないかご確認ください。

ftサーバの二重化状態に影響を与えることが想定されます。ftサーバ上に該当ソフトウェアを搭載しないようご検討願います。

例として実際に影響の生じたケースのソフトウェアを記載します。ご参照ください。

□ ftサーバ用のUSB, VIDEO, SCSI, LANのドライバをフィルターするソフトウェア

例) **pcAnywhere**、Radmin、JP1/NETM/Remote Control Agent、LANDesk Management Suite(エージェント)、UltraVNC、RealVNC 等

→リモート制御機能ご利用の場合はWebSAM WinShareの使用をご検討ください。

□ ハードディスクのソフトウェアミラーをサポートしていないソフトウェア

例) Arcserve Backup Disaster Recovery Option、Backup Exec Intelligent Disaster Recovery Option、Arcserve Backup Image Option

□ 画面の頻繁な切替や、高度な描画性能が必要なソフトウェア

□ サポート外の構成でUSB/シリアル/パラレルインタフェースを利用するソフトウェア

□ CPUボード固有の情報やTSC (Time Stamp Counter) を扱うソフトウェア

例) VMware Server、Microsoft Virtual Server、CPU-Z等

ftサーバ動作の特性により影響を受ける動作

構築・運用の際にftサーバの固有の振る舞いからご注意いただきたい点を以下に記載します。ご確認ください、構築・運用の際にご注意いただけますようお願いいたします。

※装置添付の『ご使用時の注意事項』およびガイド類もご確認ください

□ 構築の際の二重化設定

- ・ 初期導入時に、セットアップガイドに従いディスクとLANの二重化設定をお願いします。
- ・ セットアップ後のチェックリストも画面表示されますので、設定漏れ防止にご活用ください。

□ システム起動時の動作

- ・ 起動時に片系縮退のログ登録されますが、一時的で二重化完了すれば問題ありません。
- ・ 片系モジュールにのみ電源投入されたケースでは後からもう一方のモジュールを組み込んだ際にディスクの再同期が必要となり二重化完了まで時間がかかります。

□ 故障検出時と再二重化時の動作

- ・ 故障検出時は故障発生した側のモジュールを瞬時に切り離します。稼働への影響はありません。
- ・ 保守対応を行い二重化復旧される際にはモジュール間の状態を合わせるためメモリの同期が行われ通常は数秒（Hyper-V利用時はメモリ搭載容量に従い、～数十秒）間処理が止まります。保守作業のタイミングの調整などで稼働への影響のないようご配慮願います。
- ・ バックアップソフトのARCserveを使用されているケースではモジュールの再組込時に影響を及ぼさないように、通常時はサービスを停止いただく必要があります。ご協力願います。

□ ディスクI/O性能

- ・ ftサーバではディスクの二重化に関してはソフトウェアミラーにより実現しております。ディスクアレイコントローラは未サポートとなりますので、ディスクアレイコントローラのキャッシュを利用した性能向上については利用できません。ディスクIO性能向上には内蔵SSDおよび外部ストレージの活用をご検討願います。

□ 定期的なバックアップの採取

- ・ 特に内蔵ディスクでのダイナミックディスクを利用しているケースでは再セットアップ時に、内蔵ディスクの再二重化設定が必要となり既存データが失われます。事前にデータのバックアップ実施願います。